

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	放課後等デイサービス サンティパーブ南吹田教室		
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月7日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・集団活動、行事をたくさん取り入れている。	・季節に合せた製作やレクリエーションを入れることにより、今の時期は、どの季節なのかを理解できる。	・製作やレクリエーションを行うことで、子どもたち一人一人が四季を感じてもらえる。
2	・異年齢との関わりが多い。	・幅広い年齢の子どもたちが多く利用しているため、関わりがある。	・異年齢との関わりを持つことで、何をしないといけないかの理解を深めていく。 ・関わりの中で、日常的なルールや遊びのルールを守るように職員がお手伝いをする。
3	・子どもたちのわからないことや自立できるように支援している。	・子どもたち一人ひとりが身の回りの事が出来るよう、声かけや手助けを行っている。 ・子どもたちがわからないことをわかっていけるよう、支援をしていき、成功体験を積んでいく。	・自己肯定感を上げていくために、子どもたちのできることを増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・遊びの幅を広げていく	・遊びの内容や玩具の種類が少なく、偏りが多く見られる。	・遊ぶ場所や玩具の種類を増やしていき、遊びの幅を広げていく。 ・子どもたちの意見も取り入れながら、レクリエーションを行う。
2	・地域の方との交流をする。	・地域の行事などの予定を把握できていない。	・地域の行事等の予定を把握し、地域の方々との関わりを増やして行く。
3	・姉妹事業所との連携を図る。	・関わりが少なく情報共有や連携が取れていなかった。	・合同での行事や避難訓練、研修を開催し、情報共有をする機会を増やしていき、連携を図る。